

がん化学療法レジメン登録票

新規レジメン登録の際にはプロトコールの提出が必須です
プロトコールがない場合は参考文献を提出してください

レジメン名	ピルトブルチニブ (CLL)
診療科名	血液・腫瘍内科
診療科責任者名	末永 孝生
適応がん種	他のBTK阻害剤に抵抗性又は 不耐容の再発又は難治性の慢性リンパ性白血病 (小リンパ球性リンパ腫を含む)
保険適応外の使用	☐ 有 ☒ 無
入院外来区分	☐ 入院 ☒ 外来

がん治療ワーキンググループ使用欄	
登録番号	CLL-10
登録日・更新日	2025年10月28日
削除日	
出典	J Clin Oncol 43:2538-2549 ジャイバーカ錠 適正使用ガイド
入力者	木崎 悠斗

投与順に記入 (抗がん剤のみ)

	薬剤名: 一般名 (薬剤名: 商品名) 希釈液	規格	投与量算出式	投与経路	投与時間	施行日
No.1	ピルトブルチニブ (ジャイバーカ錠)	50mg , 100mg	200mg/回	☐ IV ☐ DIV ☐ CV ☐ 側管 ☒ その他(経口)	1日1回	連日内服

1コースの期間	-
投与間隔の短縮規定	☐ 短縮可能(日) ・ ☒ 短縮不可能
計算後の投与量上限値	110%
計算後の投与量下限値	50%
減量・中止基準	<開始基準> ANC≥750/ μ L、PLT≥5万/ μ L、Hb≥8g/dL AST≤80 U/L(肝転移がある場合、AST≤150 U/L)、ALT≤100 U/L(肝転移がある場合、AST≤200 U/L)、T-Bil≤1.5mg/dL(ジル ベール症候群の場合、T-Bil≤3.0mg/dL) APTT≤55.5sec、PT-INR≤1.5 CrCL≥30mL/min LVEF≥40% QTcF≤470msec <減量・中止基準> Grade3以上の副作用が発現した場合:ベースライン又はGrade1以下に回復するまで休薬。ベースライン又はGrade1以下に回復後、 下記の目安を参考に副作用発現回数に応じて用量調節を行い、再開する。 <用量調節の目安> 1回目:200mgで再開 2回目:100mgで再開 3回目:50mgで再開 4回目:投与中止
催吐性リスク	該当なし
前投薬	なし
支持療法(その他)	なし
その他の注意事項	・術前術後の3～5日程度は本剤の投与中断を考慮する。 ・強い又は中程度のCYP3A誘導剤(リファンピシン、カルバマゼピン等)との併用は本剤の有効性が減弱するおそれがあるので、 CYP3A誘導作用のない又は弱い薬剤への代替を考慮すること。